

災害情報研究会 R4 年度 第 2 回定例会議事録

1. 日 時：2022 年 5 月 20 日（金） 15:00～17:00

2. 場 所：オンラインミーティング（By Zoom）

3. 出席者：（12 名：敬称略・順不同）

市川（レスキューナウ）、高橋（インフォコム）、梅田（リスクマネジメントオフィス梅田）、野田（アジア航測）、上倉（FM 防災 Lab）、水落（NEC ソリューションイノベータ）、西濱（西濱防災ネット技術事務所）、杉山（富士通）、前田、杉崎（エプソン販売株式会社）、徳山（インフォコム）、中村（議事録）

4. 議事

4.1 企業の災害対策簡易診断（更新版）の紹介

- ・市川座長作成の診断表を紹介。
- ・従来の災害対策簡易診断表は 5×4 項目で評価していた。
- ・◎、○、△、×、－（非該当）で現状評価と来期計画に利用。

従来の災害対策簡易診断表

	本社			現地	
	災害対策本部	CMT	事業部門	自衛消防隊	社員
1) 体制構築					－
2) 手順確立					
3) ツール整備					
4) トレーニング					

注 1：CMT は災害対策本部裏方の事務局ではなく、災害対策本部に 2 時間先行して立ち上がる。

注 2：「手順」はマニュアルではなく、プロトコル（「誰が」、「いつまでに」を明記）。

- ・更新版（4T による BCP 防災簡易設問表）では上記各項をさらに 4 分割して、合計 76 項目の評価項目を作成。各項 0～5 の 6 段階での評価とした。ただし、0 は「まったくできていない」と「対象外」のふたつの意味を含む。
- ・更新版は、フォーマットの著作権はレスキューナウ危機管理研究所で所有する。しかし、改変含む利用は自由として一般に公開予定。現状評価とアクションプランの作成に利用してもらうことができる。協議のためのツールとしても利用できる。

4.2 企業の災害対策簡易診断（更新版）の試行

- ・BCAO を評価し、更新版の有用性を確認した。
更新版を使用することで、BCAO の在り方について議論を深めることができた。
なお、習熟度を評価するにはどのようにしたら良いかについて意見交換があった。
- ・その他以下の意見があった：
 - 1) 4T それぞれの平均は何点か、100 点満点で何点か、レーダーチャートがあると良い。
 - 2) 一般の人には 76 項目は多い。30 項目くらいが限度か。
 - 3) 防災と BCP を分けた方が良い。
 - 4) 社内での説得材料として使うには、第三者評価が欲しくなる。
 - 5) 期待される基本行動の基準が F 列にあった方が良い。
 - 6) 一部の用語の解説が必要。 例）プロアクティブリスト

5.次回開催予定

日 時：2022 年 6 月 17 日（金）15：00～17：00

場 所：オンラインミーティング（By Zoom）

議 題：訓練想定モデル（ビカオ）の協議（8/19 に最終化）

報 告：DMTC について

以 上